

ようこそ、  
藤岡市議会の皆さん！

古賀市議会の  
議会改革の取り組み  
その歩みと今後の課題

2020年1月21日（火）

古賀市議会

	藤岡市	古賀市
人口	65,117人	59,523人
世帯数	27,587 世帯	25,788 世帯
面積	180.29 k <sup>2</sup>	42.07 k <sup>2</sup>
人口密度	361.18 人/k <sup>2</sup>	1,414.86 人/k <sup>2</sup>
議員数	18人	19人

（1月1日現在）

（12月末日現在）

# 今日お話しする主なテーマ

- (1) 災害時の議会对応について
- (2) 押しボタン式表決について

# 模索

## 改革の模索 市制施行（1997年）を契機に

- 「議会だより」の発行
- 一日一委員会の開催
- 議会閉会中の所管事務調査
- 議長裁量による一問一答

# 検討

## 検討の着手 活性化特別委（2010年）や議運

- 議会基本条例の視察研修、三重県議会事務局次長による研修会
- 特別委最終報告「基本条例は、来任期における重要な検討課題」

# 実現

## 議会改革の実現 2011年5月～2015年5月

- 議会基本条例策定を掲げた議長の所信表明
- インターネット中継、議会基本条例の施行、改革度九州沖縄1位
- 災害対応要綱や看護大学とのパートナーシップ協定

# 定着

## 議会改革の定着 2015年5月～2019年5月

- 議会改革の定着、継続
- まち・ひと・しごと地方創生への対応
- スマホ、iPad対応

# 継続

## 議会改革の継続 2019年5月～2019年8月

- 議会改革の継続
- 通称名使用要綱整備
- 政策推進会議

# 議会基本条例の制定、施行に向けた取り組み

議会基本条例等調査特別委員会設置（2011年6月22日）

先進地視察

ワーキングチーム

市民アンケート

パブリックヒアリング

田中孝男先生研修会

素案検討小委

条例案検討小委

市民説明会

議会基本条例等調査特別委員会最終報告（2013年3月26日）

議会基本条例案議員提案（8人、2013年6月6日）  
賛成多数で可決（13：5，6月19日）

議会基本条例施行準備会設置（2013年8月22日）  
答申（2014年3月20日）

議会基本条例施行に向けた会議規則改正案  
全会一致で可決（2014年3月27日）

議会基本条例施行（2014年4月1日）⇒議会報告会

2年間の検討

8ヶ月の準備

実践

- 会議規則改正
- 議会報告会  
実施要綱
- 政策推進会議  
運営要綱
- 議会全員  
協議会規程

この8ヶ月間の  
経験が大きな  
特徴でした

## 災害時の議会対応に関する主な経過

- |       |        |  |
|-------|--------|--|
| 2015年 | 1月31日  | 政策推進会議全体会で災害対応要綱、行動マニュアル策定を了承（政策推進会議のテーマは「公共交通」） |
|       | 1月29日  | 災害対策本部設置訓練                                       |
| 2016年 | 10月14日 | 議会運営委員会で滋賀県大津市議会の議会版BCP視察                        |
|       | 1月28日  | 議運で視察報告、議会版BCPを策定することを確認                         |
|       | 1月16日  | 古賀市議会のBCP策定に向けて議長から諮問                            |
|       |        | 議員連絡会で議会版BCPについて報告                               |
| 2017年 | 1月6日   | 議運で正副委員長案を提案                                     |
|       | 1月18日  | 議員連絡会で報告・説明                                      |
|       | 2月7日   | 議会版BCPについて集中審議、議長へ答申                             |
|       | 3月22日  | 議員全員協議会で協議、継続協議を確認                               |
|       | 6月27日  | 議員全員協議会で「議会版BCP」を了承                              |
| 2018年 | 7月6日   | 大雨災害のため、議会災害対策会議を設置                              |

## 防災グッズの整備

サバイバルローラーバック



3日間の飲料水や食料をはじめ携帯ラジオ、簡易トイレ、防寒用具など緊急時の必需品一式をまとめた防災用品のセット。22リットルと大容量で保冷・保温機能を備え、かつ、貯水タンクとしても活用することができます。

議員及び議会局職員に配置

折り畳み式防災用ヘルメット

議員38個、執行部及び議会局職員40個



収納時



着用時

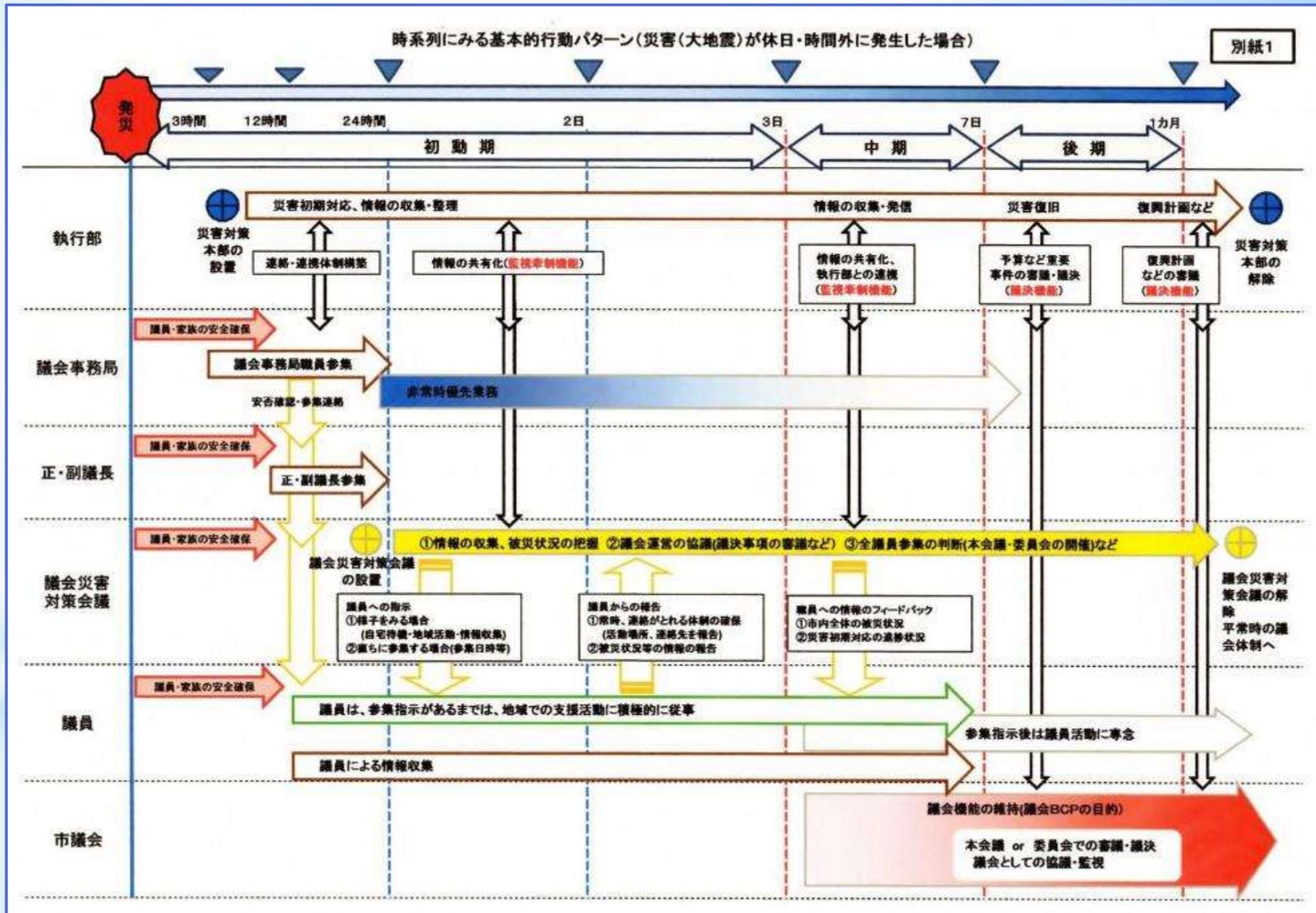


座席に収納

議員氏名、血液型、緊急時連絡先を明記

古賀市議会議会運営委員会は、災害発生時の議会としての業務継続計画（BCP）の策定に向けて、滋賀県大津市議会の先進事例を調査研究しました。2016年10月

災害発生後の時系列の行動パターン  
 議会運営委員会の答申  
 全員協議会で了承  
 2016年2月7日  
 2017年6月27日



災害発生時の本会議運営マニュアル  
 議会運営委員会の答申  
 2016年2月7日  
 2017年6月27日  
 全員協議会です承

ケース	定例会の時期	議運	本会議開会可能	本会議開会不可能	委員会	一般質問	市長の専決処分
1	告示1週間前くらい	開催不可能な場合は正副議長、議運正副委員長判断	●開会		状況判断	同左	
				●招集されない 議員半数以上死亡			●市長判断で 専決処分可能
2	告示（初日1週間前） 議運	開催不可能な場合は正副議長、議運正副委員長判断	●開会		状況判断	同左	
				●招集されない 議員半数以上死亡			●市長判断で 専決処分可能
3	初日の本会議 二日目の本会議	開催不可能な場合は正副議長、議運正副委員長判断	●継続		①付託・審査→本会議採決 ②付託省略→本会議質疑・討論・採決	省略	会期中の 議決閉会あり
				●開会できない	閉会予定日の17時を迎えた時点で自然閉会。廃案。 議員の半数以上死亡の場合はその日から専決処分可能		自然閉会后 専決処分可能
4	委員会	開催不可能な場合は正副議長、議運正副委員長判断	●継続		①未審査、審査途中→本会議 ②審査不可能→本会議	省略	会期中の 議決閉会あり
				●開会できない	閉会予定日の17時を迎えた時点で自然閉会。廃案。 議員の半数以上死亡の場合はその日から専決処分可能		自然閉会后 専決処分可能
5	一般質問	開催不可能な場合は正副議長、議運正副委員長判断	●継続		一般質問を省略し、審査結果報告・質疑・討論・採決。議了。	省略	会期中の 議決閉会あり
				●開会できない	閉会予定日の17時を迎えた時点で自然閉会。廃案。 議員の半数以上死亡の場合はその日から専決処分可能		自然閉会后 専決処分可能
6	最終日の本会議	開催不可能な場合は正副議長、議運正副委員長判断	●継続		実施	実施	本会議で議了 閉会
				●開会できない	閉会予定日の17時を迎えた時点で自然閉会。廃案。 議員の半数以上死亡の場合はその日から専決処分可能		自然閉会后 専決処分可能



政策課題の発表会

政策推進会議  
政策課題発表会の様子



## 議会基本条例・第13条

- 市政に関して重要なものについて、議員間で共通認識及び合意形成を図り、政策立案を推進するため、**政策推進会議**を開催することができる
- 提言として取りまとめたものについて市長等に報告することができる

## 政策推進会議運営要綱

- (所掌事務) **政策課題**の決定、**調査研究**の実施、**政策的条例案**の策定、市長に対する**政策提言**の報告
- (役員会) 副議長及び各会派から選出された者で役員会を置く。
- (役員会の所掌事務) 政策課題の募集及び選定、政策課題発表会の企画及び実施、議会報告会を受けた政策課題の発意、緊急性および必要性が高い政策課題の発意



バス乗務員から説明を聞きました



バスの中でアンケートに記入する高校生



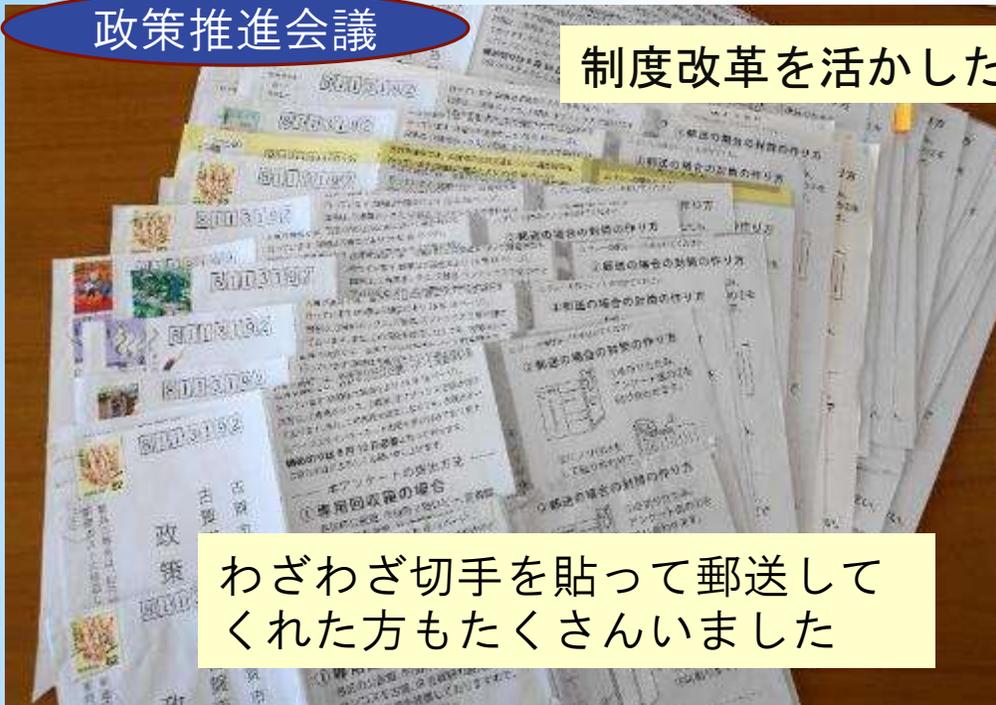
乗客から直接聞き取りもしました



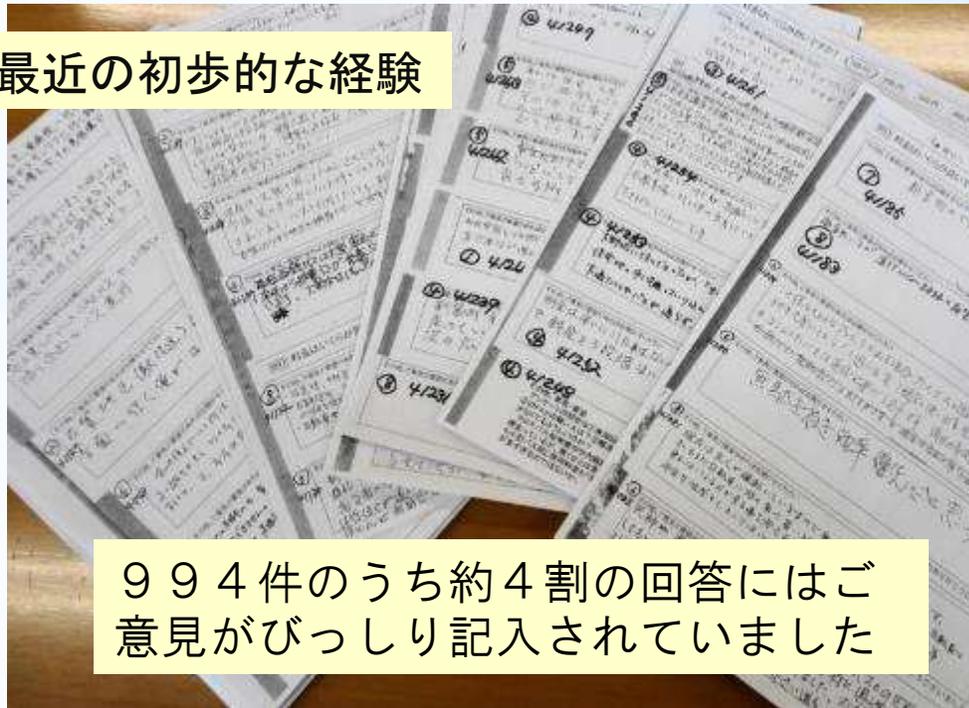
朝夕は通勤・通学が多かったです

2016年8月上旬  
全議員が市内の路線バスに乗車して  
現状調査を行いました。

制度改革を活かした最近の初歩的な経験



わざわざ切手を貼って郵送してくれた方もたくさんいました



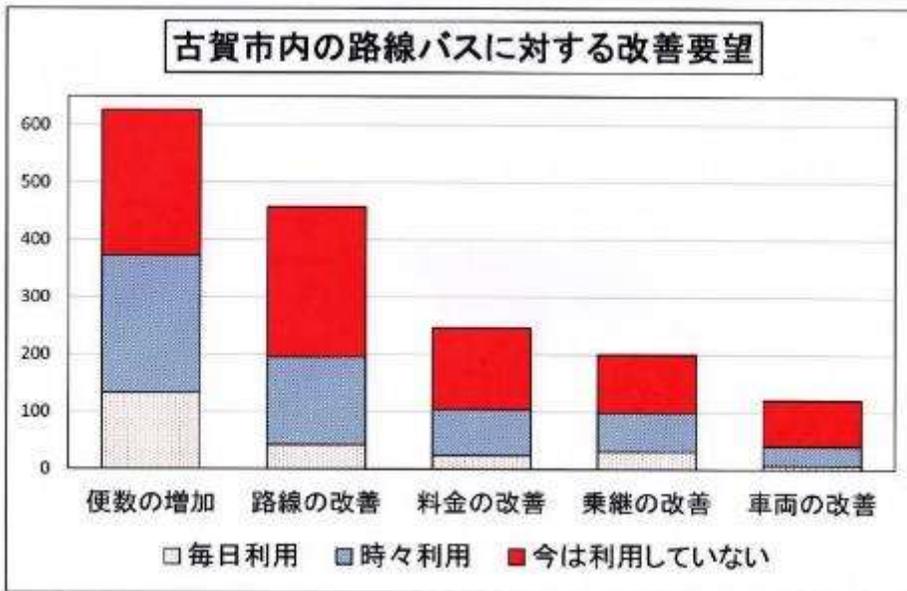
994件のうち約4割の回答にはご意見がびっしり記入されていました

2016年8月～9月10日

公共交通に関するアンケート  
私たちの予想を遥かに超える  
994件の回答が寄せられました



994件の回答をパソコンで集計



平成29年3月2日

古賀市長 中村 隆象 様

古賀市議会 議長 結城 弘明  
古賀市議会政策推進会議 会長 田中 英輔  
副会長 清原 哲史

## <<古賀市の公共交通体系の確立に向けての提言>>

古賀市議会基本条例に基づき設置された政策推進会議で「古賀市公共交通」について平成27年6月から平成29年2月まで現地調査、市民アンケート、議員、会派、議員グループから意見、構想を出し合い調査研究を行いました。古賀市の公共交通体系の確立に活かされるよう以下の提言をいたします。

### ① 現在の西鉄路線バスの維持と発展は必要である

現在年間26万人近い利用者があり、市民にとって日常生活になくてはならない移動手段になっている。少子高齢化時代を迎え西鉄路線バスは基幹公共交通として維持と発展は益々重要である。

### ② 公共交通は福祉的かつ教育的視点で検討すべきである

現在年間4,000万円余りの財源を充て運行しているが、高齢者の外出促進、市民の健康管理、社会教育を享受する環境、古賀市の将来を担う子どもたちの教育を支える環境など、安全で低廉な価格で利用できる利便性の良い交通環境が保証される必要がある。公共交通はそのような点から福祉的かつ教育的視点で検討されるべきである。

### ③ 利用者の目的にあった改善を求める声を聴くべきである

乗車調査やアンケート活動を通して、改善を求める強い声を聴取した。それはアンケートの回答や自由記述にも表れている。路線バスの運行は市民の要望、目的に合ったものが必要である。運行を優先する余り利用者の利用目的からずれた運行になっていないか検証すべきである。利用者の声を聴き、そうした声を反映した運行は、今は利用していない市民の利用促進にもつながる。市民とともに運営する路線バスとして改善を求める声を聴くべきである。市民からの意見、要望は料金よりもバスの便数や路線の改善を求める声が多い点の特徴のひとつであった。

### ④ 廃止路線の復活や路線の見直しに取り組む必要がある

市は公共交通サービス圏をバス停から半径500メートルとして公共交通の運行を行っている。市内には過去運行されていたバス路線が廃止されたり、市内バス路線以外のバス路線からサービス圏とされているところ、公共交通サービス圏内でも運行便数が少ないなどの問題もある。交通権という概念もあり、交通空白地の解消という点から蘆野系統の清滝までの復活や路線の見直しに取り組む必要がある。

### ⑤ その他

補完的交通の手段、地域サポート補助について、さらに検討すべきである。

以上、古賀市議会政策推進会議の「古賀市公共交通に関する調査研究」についての提言といたします。調査研究にご協力いただきました市民の皆様、各種団体の皆様、事業者の皆様、執行部・職員の皆様に心より感謝申し上げます。



# 政策テーマ発表会



政策推進会議  
政策テーマ選定に向けて発表会を実施  
(2019年10月18日)

## 発表された政策テーマ

- 福岡堅樹選手の名誉市民顕彰
- 古賀市健康づくり条例の議員提案
- 移動手段確保のための「こがバス」再編計画の提言
- 市民が利用しやすいコガバスの路線拡大
- 古賀市内の河川や海岸に流入するプラスチックごみの削減への対策
- ユニバーサルマナー宣言都市古賀市を目指す
- 農林業の振興
- 気候変動（地球温暖化）に対する対応

# 気候変動問題 研修会に着手

2100年の天気予報



2019年12月18日

壱岐市の気候非常事態宣言



2020年1月20日

ボタン表決

視察テーマ2

## 賛否の公開

議員ごとの  
賛否を表示



2018年3月27日の本会議では  
可否同数による議長裁決が3件あった！

議会だよりで全議案の議員ごとの賛否を掲載

●2005年3月から主な議案、2012年から全議案  
押しボタン式表決システムを導入

●2014年6月議会

●会議規則第70条（起立等による表決）に押し  
ボタン式表決を規定。賛成、反対を明確にした。

●押しボタンによる採決後、議長は「投票総数〇人、  
賛成〇人、反対〇人、よって可決・否決」と口述。

●可否同数の場合は、直ちに議長裁決とする。以前は  
投票を行っていたが、可否同数が明確であることから  
投票を省略することが可能となった。

会議規則第70条（起立等による  
表決）の第3項、4項に「押しボ  
タン式表決」について定めた。

# 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。